

施策評価シート(令和5年度実施施策)

総合計画 体系	政策No.	3	政策名	健やかで人にやさしいまちづくり	施策主管課	健康ふくし課
	施策No.	3-5	施策名	支えあい尊重される社会の実現	施策主管 課長名	渡部 朋宏
関係課	政策財政課 町民税務課 健康ふくし課					

1. 施策の目的

対象	A 地域・事業所	意図	A あらゆる人権が尊重され多様な人々が共生している
	B 事業所		B 男女共同参画推進まちづくり行動計画を理解し、男女がともに働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる

2. 成果指標

2. 成果指標				上段：目標値		下段：実績値		
指標名		単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 必要な時に隣近所や地域で支えあって生活している町民の割合（増加）（現状値：H28-30平均）	%	73.6	74.1	74.6	75.1	75.6	76.1
				69.2	68.9	70.2		
②	B 男女共同参画推進まちづくり行動計画を知っている事業所の割合（増加）（現状値：H30時点）	%	36.7	40	40.7	41.3	41.8	42.2
				46.7	53.2	34		
③								
④								

3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	目標値は達成していないが、R4から1.3ポイント増加しており、新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえ、少しずつ地域社会での関わり、支えあいが増えてきていると考えられる。特に、65歳以上では隣近所で支えあって生活していると感じている割合が80%を超えており、高齢者にとって日常的な支えあいが行われていることを確認できる。
②	この指標は、町内の主要な事業所へのアンケートによる数値であるため、年度により多少の変動があるのはやむを得ないが、前年度より大きく数値が下がった。事業所アンケートの際、啓発用のチラシ等を同封しているものの、男女共同参画の意義や制度の趣旨が十分に浸透していないと考えられる。
③	
④	

4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

- ・地域福祉計画策定のための町民懇談会を中学校区で3回ずつ行い地域課題や計画（案）についての意見交換を実施し、第4期地域福祉計画を策定した。
- ・小中学校での人権教室や人権の花運動、企業訪問、施設訪問、街頭啓発活動等を実施し、人権尊重の理念の普及を図った。
- ・男女共同参画推進の取組として、小中学生を対象とした川柳コンクール及び地域における女性の活躍や移住者支援をテーマとした講演会を開催した。

5. 次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

- ・包括的支援体制の強化のため、関係機関との協議の場を設ける。第4期地域福祉計画の推進に向けて進捗管理を行う。
- ・人権教室や街頭啓発活動等を実施し、人権尊重の啓発活動に取り組む。
- ・男女共同参画については、近年少子化や人口減少対策としても重視されているので、引き続き育児休業の取得や家事育児の分担など、ワークライフバランスの推進に引き続き努めていく。特に事業所への啓発活動等を強化していく。

6. 施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和5年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4164	ふれあいセンター維持管理事業	11,256	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
2	4888	男女共同参画推進事業	255	拡充	現状維持	②生産性改善	○
3	5738	地域福祉団体支援事業	21,885	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
4	5851	地域福祉計画管理事業	4,105	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
5	5884	総合福祉支援事業	249,758	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
6	17342	人権普及啓発事業	77	現状維持	現状維持	⑤現状維持	